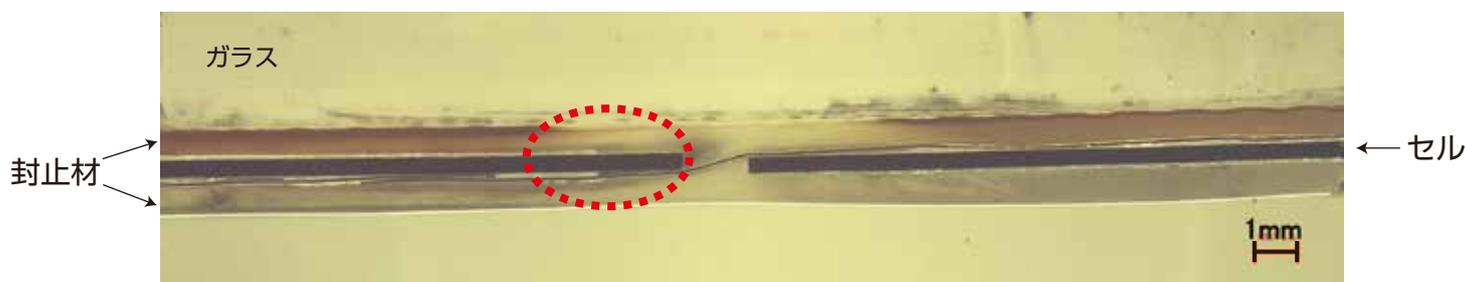


シリコン系太陽電池パネルの故障解析

太陽電池モジュールは過酷な屋外環境下で使用される中で、故障や不具合が発生する。通常、強化ガラスの切り出しは困難であるが、当社では特殊な加工をすることで、強化ガラスにひび割れが入らない状態で故障・不具合箇所の断面を作製することができる。これを走査電子顕微鏡（SEM）観察することで不良要因・原因の特定が可能となる。

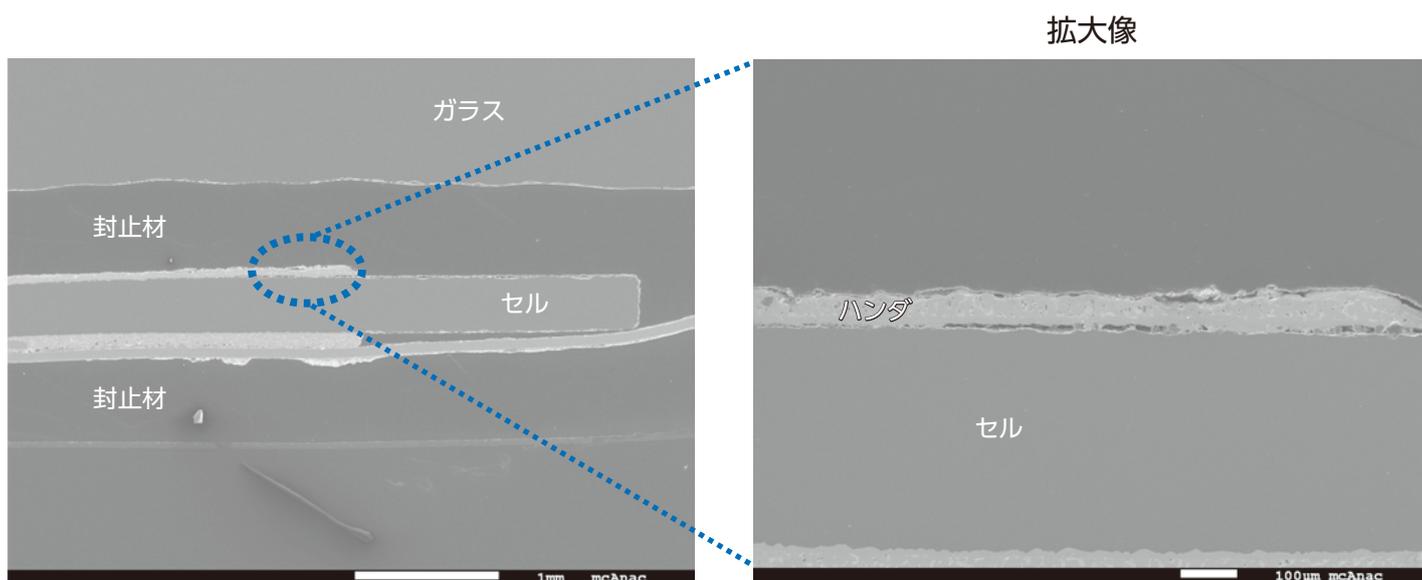
▶ 太陽電池パネルの断面観察

実体顕微鏡像



特殊加工により強化ガラスであっても幅2cm程度の断面を作製することが可能

走査電子顕微鏡（SEM）像 上記実体顕微鏡像の 部分のSEM観察



広域でSEM観察を行うことにより、例えば「セル／ハンダ」、「Cu／ハンダの各界面」、及び「ハンダ内のクラック」などにおける不良要因・原因が発見しやすい

